

■ 人物紹介

生没年：1920-1989

ゆかりの地：岩国市

ジャンル：小説

昭和期に活躍した小説家。

大正9年3月5日、米国ハワイ州ホノルルに生まれ、後に父親の出身地岩国に引き揚げた。上海の東亜同文書院大学卒。

戦後、岩国市議となるが1期目で辞職して、岩国市職員となり、総務課長などを歴任したほか、助役を2期務めるなど公職で活躍しつつ、創作活動にも取り組み、『錦帯橋物語』などを刊行した。

また、岩国市文化協会、宇野千代後援会、山口創作文芸懇話会の会長なども務めた。

平成元年12月10日没。69歳。

参考文献

『やまぐちの文学者たち 増補版』

(やまぐち文学回廊構想推進協議会 編集・発行 2013 請求記号：Y910/P 3)

■ 資料紹介

◆主な伝記

伊藤の伝記は刊行されていない。

『昭和山口県人物誌』

(中西輝磨 著 マツノ書店 1990
請求記号：Y280/M 0)

大正から昭和にかけて活躍した山口県出身者（故人）の小伝集。p63-64に伊藤の項があり、略歴がまとめられている。

「21世紀」(65)

(地方文化の会・岩国 1990 請求記号：Y910/K 2)

岩国で発行されていた総合雑誌。特集「伊藤正一・杉本春生を偲ぶ」として、伊藤と、評論家で詩人の杉本春生への追悼文等を掲載。市職員としての業績一覧や、伊藤の文学碑についての記載もある。

同じく伊藤追悼号として、「火山群特別号 伊藤正一先生追悼文集」

(岩国文学協会 編 岩国文学協会 1990 請求記号：Y910/I 2) もある。

◆作品集など

『若き日の毛利元就 新装改訂版』

(伊藤正一 著 叢文社 1996 請求記号：Y/I 89)

安芸国高田郡吉田の在地領主であった毛利氏が、元就の代に勢力を拡大する様子を描いた歴史小説の新装版。伊藤の遺作となった。

『錦帯橋物語』

(伊藤正一 著 叢文社 2004 請求記号：Y233/N 4)

錦帯橋と、橋を取り巻く人々の歴史をまとめたものの新装版。中国新聞に連載された。関連著作として、錦帯橋建設の経緯を小説化した『錦帯橋物語』(岩国市観光協会 1978 請求記号：Y/I 89) もある。

「火山群」

(岩国文学協会 不定期刊 請求記号：Y910/I 0)

伊藤が起こした同人誌「岩国文芸」(のち「岩陽文芸」)の後継誌で、当館では7号から所蔵。(欠号あり)

◆研究文献など

“国立国会図書館デジタルコレクション”

(国立国会図書館)

<https://dl.ndl.go.jp/>



国立国会図書館が所蔵している資料等を電子化して収録しているウェブサイト。多くの資料を全文検索できるため、伊藤の作品のほか、彼に関する記事などを広く探すことができる。(ただし、同姓同名の人物が多いため、注意する必要がある。)

◆文学館・史跡など

“伊藤正一先生文学碑”(岩国市)

岩国文化協会により、平成2年(1990年)2月、生前に伊藤が愛した錦帯橋のそばに建てられたもの。

- このほか、当館ウェブサイトや館内の蔵書検索機の「なんでも検索」で「伊藤正一」と入力して検索すると、関係する資料を幅広く探せます。

ウェブサイトの最終確認日：2026年7月14日

■お探しの資料が見あたらないときは、当館職員へお尋ねください。

山口県立山口図書館 総合サービスグループ
TEL：083-924-2114 (調査・相談)
FAX：083-932-2817
WEB：<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

いとう しょういち
伊藤 正一

について調べる

- 伊藤正一の作品を読んだり、彼について調べたりするための、基本的な資料をご紹介します。
- ここで取り上げた資料は2階の「山口県文学」の本棚、あるいは書庫にあります。
- この他にも、関係する資料があります。くわしくは、カウンターの職員にお尋ねください。

作成日：2026年7月14日